



# 実現へ大きく前進

左から持田、北原、佐々、梶栗、千葉の各氏



## 座談会

東洋と西洋の諸国を連結し、平和と幸福に満ちた理想世界を実現する計画として提唱された国際ハイウェイ構想——その一環たる日韓トンネルプロジェクトを推進する同研究会が発足。周年を経過したのを機に、今後の計画の進め方、展望などについて語つてもらつた。

## 重要なルートの選定

ついで忌憚のない意見をお聞かせいただければと考えております。

これが実施されました。

この調査に基づき、ごく簡単に地質概略をお話します。

対馬は北東—南西方面に細長い島で、地層は、化石等より古第三紀層といわれています。壱岐島は、島の真ん中に断層があり、それを境に南部は新第三紀層、北部は古第三紀層で、その上に新第三紀層が乗って、さらに玄武岩が乗っている状態であります。九州は古第三紀層であります。九州は、反対に朝鮮半島は慶州層群があり、褶曲を繰り返しながら日本へ入って来ているので、おそらく、その上に対馬層群があると考えられます。

そこで三千本近くの井戸があります。

以上、現在の地質等の概略について話しましたが、これらを前提としている、なお話を伺いたいと思っているわ

いです。海底トンネルなり、ハイウェイを通す場合、どういう条件がルート選定の上で重要なことになるのか、北原さんにお考えありませんか。

△△△

北原 第三部会の海底トン

停車場どこに

佐々

第三部会も先程、

話ましたが、御影石がなかなか空洞を作ることは、そ

ので、この夏には、発表できる

と思います。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出

ます。

△△△

千葉

第三部会も、もちろん問題

です。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

梶栗

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

千葉

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

持田

第三部会も、非常に問題だらう、

もう一つは、トンネルが出て

ます。

△△△

北原

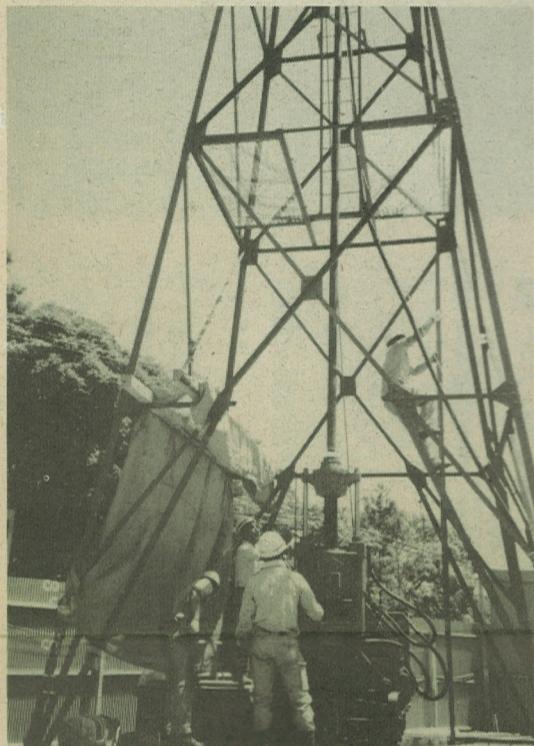
第三部会も、非常に問題だらう、</p



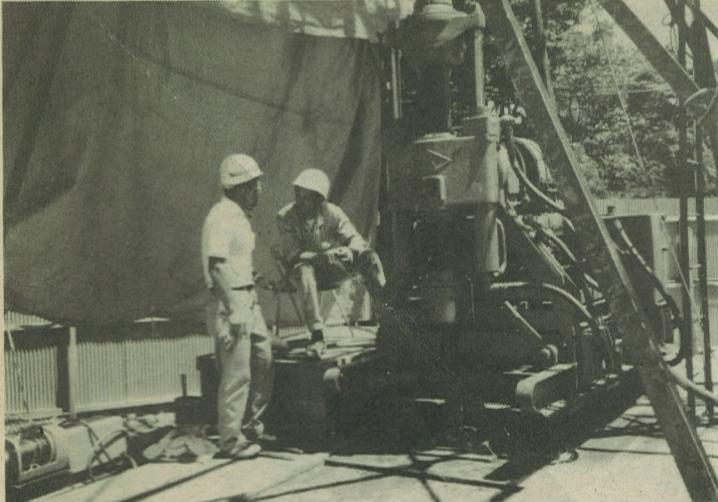


# 人情と自然美の壱岐

壱岐・左京鼻から玄界灘を望む



高まる地元の期待  
——  
仮技術者が応援に



仮技術者と綿密な打ち合わせ

る。この工事は、日本で初めての高圧ガスの地下貯蔵施設として、多くの技術者と労働者が日々奮闘している。

## 地質調査のボーリング開始



中継基地として  
佐賀県唐津市から二十キロ離  
れたところに呼子港がある。  
そこからフェリーで時間十  
五分行くべく、「神話の島」壱  
岐島である。

南北約十七キロ、東西約十五キ  
ロのカヌー形に似た島で、古  
くから対馬と共に、日本と韓  
半島、中国大陸との交通の要  
路にあり、飛び石状の自然  
条件が、航海上重要視されて  
きたところである。

その壱岐島の存在が、再び  
世間の注目を浴びている。す  
なわち、中国から韓国を経て  
日本に至る「アジア大ハイウェイ構想」が提唱され、その一環として日韓を結ぶトンネル計画が浮上するに及んで、ト  
壱岐もまた対馬と並んで、ト  
ンネル中継基地としての重要

性がクローズアップされているのである。

これまでにトンネル計画に

関する三回の海域調査が行わ  
れ、対馬、壱岐、九州間の海

底部の地質状態が明らかにな  
っている。今年四月からは、

壱岐の東海域を中心に、海底

地質と地形の調査（総延長五  
百八十キロ）が開始された。

さらに五月からは、対馬の

北西海域部調査もはじめられ  
た。昨年十月に進水した調査

船第三定安丸（二六〇トン）に

搭載されたウォーターガンを

使用したデジタル・マルチチ  
ャンネル方式の音波探査が行  
われ、総延長六百七十キロに及  
んでいる。

ウォーターガンは、海中で

高圧エネルギーの圧縮空気を発  
射する最新式音波探査装置

で、海底下五百〜一千メートル

までの地質調査ができる特  
徴をもっている。

八二年十月から開始された

海域部の音波探査も、延べ六

千五百キロとなり、今年六月二  
十三日、東京・渋谷で開かれ  
た地形地質調査報告会で、そ  
の調査結果が発表された。

活気ある事務所

フエリーが印通寺港に着い  
た後、徒歩で十分行くべく「国  
際ハイウェイ建設事業団」の

壱岐事務所がある。昨年六月  
に建てられたばかりで、現在

では棟の事務所に十人の職  
員が働いている。事務所前の

中学校から生徒達の歓声が聞  
こえ、静かな敷地も活氣づい  
てみえる。

「一年間の壱岐での生活、

壱岐の人たちの情よ、その自  
然に引きつけられました」と  
者・林徳衛氏の指導を得て、  
松村喜八所長。青函トンネ  
ルの水平ボーリング責任者を務  
めた花田主任技師を中心に、  
千葉正美・日韓トンネル研究

会地質顧問と壱岐の地質学  
者・林徳衛氏の指導を得て、  
六月一日から芦辺町住吉神社  
で、四百㍍の深層ボーリング  
が開始された。



「国際ハイウェイ建設事業団」の壱岐事務所

朝早くから夜遅くまで調査  
研究に従事し、日本の技術者  
と共に汗を流して働いてい  
る。

その姿を通して、「全世界  
に通じる自由闊大ハイウェイ  
を完成することによって、東  
洋文明と西洋文明を結合させ  
なければならぬ」と宣言さ  
れた文鮮明師の地上天国構想  
を、目の当たりに見るような  
思いであった。

六月二十九、三十の両日に  
は日韓トンネル研究会九州支  
部の地形地質委員会が壱岐事  
務所で開かれ、山崎達雄九州  
大学名誉教授らの各委員がボ  
ーリング現場を視察した。

こうした動きに対して、「吉  
崎日報」(六月十一日付)が、唐  
津・壱岐・対馬・金山を結ぶ  
大トンネル計画」と題して報  
道するなど、地元での期待と  
評価も次第に高まってい  
る。

七月末からは、対馬において  
ても、五百㍍の陸上部深層ボ  
ーリングが開始された。海上  
陸上部の地質状態が明らかに  
されるにつれ、日韓トンネル  
計画は、一步一步その実現に  
向けて着実な发展を遂げてい  
るのである。

# 21世紀への新しい足跡

未来をつなぐ国際ハイウェイ・プロジェクト

## ご案内

### (ビデオ)

- 『国際ハイウェイ』(23分)【日、英語】
- 『国際ハイウェイ・ダイジェスト版』(11分)【日、英、仏語】
- 『道』国際ハイウェイ・プロジェクト(30分)【日、英語】
- 『本郷路』(11分)【日、英語】

### (パンフレット)

- 『国際ハイウェイ・プロジェクト』(A4判、12頁、カラー)
- 『国際ハイウェイ基本構想』(A4判変型、40頁)

•お申し込み、お問い合わせ

☎03-496-2893



INTERNATIONAL HIGHWAY

国際ハイウェイ建設事業団

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大名ビル3号館437号室 ☎03(496)2893

### ●『日韓トンネル時報』(B5判、32頁)

500円(送料込)

### ●『日韓トンネル研究』(B5判、178頁)

2,000円(送料別)

### ●振り込み先

三菱銀行渋谷支店(普) 5986474

郵便振替 東京8-143133

### ●お申し込み先

☎03-496-9211

国際ハイウェイプロジェクト  
日韓トンネル研究会